

令和3年6月22日

一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会  
第18回 ワンポイントセミナー

## 非常時から見えてきたもの

---

社会福祉法人 近代老人福祉協会  
特別養護老人ホーム ニューバード  
副施設長 菊池 威人

## ニューバードが経験した非常事態

---

- 令和3年3月24日
- ご入居者1名が新型コロナウイルス陽性との診断を受ける。

## 陽性判明後の対応

---

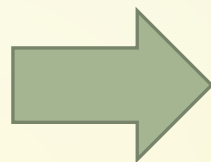
- ・ ご入居者： 3名 ⇒ 居室隔離、 職員：10名 ⇒ 自宅待機
- ・ 職員・ご入居者（計38名）の PCR検査を実施 ⇒ 全員陰性
- ・ ショートステイ、本入居の新規受け入れを中止。
- ・ ご家族や居宅介護支援事業所等の関係各所へ報告。

## 施設で行った感染症蔓延予防対策

- 食器を使い捨ての物に変更
- 入浴の中止
- 排泄支援を定時のみとする

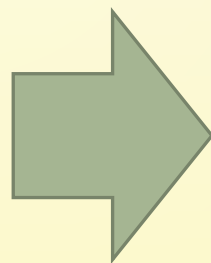
- 濃厚接触ご入居者3名の完全隔離  
(入室の都度、防護服を着用し、ゴミや洗濯物を一切居室から出さない)

- 夜勤を1ユニット1名体制とした



非常時における  
“一斉一律”ケアの実施

残された数少ないスタッフが懸命にユニットを守っていた



ユニット型個室のメリット  
を最大限に生かし、感染予  
防対策を重点化

## 緊急事態発生の6日後、隔離中のご入居者にある変化が

---

- **Aさん（70歳代：女性）**
- **既往歴：腰椎圧迫骨折、大腸癌**
- **現病歴：アルツハイマー型認知症**
- **認知症生活自立度：Ⅲb（挨拶や簡単な意思表示可能だが、会話の辻褄は合わない）**
- **食事：自立**
- **入浴：個浴リフト**
- **排泄：ベッド上**

## Aさんの身に起きた出来事

---

- 3月30日の昼食前に嘔吐し、食事が摂れなくなった。
- バイタルは普段と変わらなかったにも関わらず、夜間も嘔吐を繰り返した。

ノロ？

逆流性食道炎？

もしかして、コロナ？

## 翌朝、Aさんのお部屋を訪ねると



- 壁を向きベッド柵を揺らし続けていた
- 薄暗い部屋で、表情はなく目はうつろ
- 上半身は吐しゃ物にまみれていた

本当に感染症や病気  
なのだろうか？

受診の前にできること  
はないだろうか？



## 実際に行った支援



- ベッドサイドにテーブルを運び入れテレビを設置。
- 家族写真を置き、好きなCD等を繰り返し聞けるようにした。

- お部屋に流れる曲に合わせて、歌を口ずさむようになった。

- 毎日、ご家族とのリモート面会を行った。

- タブレットに写る長女様の顔を何度も舐めていた。

- 週末、ご家族（長男・長女様）との直接面会を行った。

- 自ら家族に話しかけ、笑顔がみられていた。



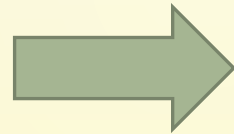
その後、嘔気・嘔吐の症状は一切見られなくなった



## 意思を上手く伝えられないAさんが、私達に教えてくれたこと

Aさんは身をもって、自らの意思を表明したと考えられないだろうか？

声なき声に耳を傾ける



「心のケア」

環境の変化は、入居者の心身に大きなダメージを与える可能性がある

# 非常時であっても大切にしなければならないこと

---

- (基本方針)
- 第三十九条 ユニット型指定介護老人福祉施設は、**入居者一人一人の意思及び人格を尊重**し、**施設サービス計画に基づき**、その居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と**入居後の生活が連続**したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて**入居者が相互に社会的関係**を築き、**自律的な日常生活**を営むことを支援しなければならない。
- 2 ユニット型指定介護老人福祉施設は、**地域や家庭との結び付きを重視**した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、**他の介護保険施設**その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者**との密接な連携**に努めなければならない。